



6月15日(日)に第1回チク・ラボ(竹材活用の研究会)を開催しました。内容は「3時間で竹炭をつくらう!」です。24名の参加者が集まり、短時間ながらにうまく炭を焼くことができました。

チク・ラボの1日目はこんな感じです!!



① 開会

はじめに、この会の趣旨を紹介しました。滋賀県北部から来られている団体もあり、皆さんやる気十分です。



② 西上先生講演

兵庫県姫路市家島町のまちづくりを題材に、「まちづくりと資源」についてお話いただきました。



③ 本日の作業説明

事務局より、「3時間で行う竹炭づくり」の流れについて説明しました。皆さん真剣で、メモを取る姿も見られました。



④ まずはグループ分け

今回は4班に分かれて竹炭をつくります。他の団体の人と交流できるように、うまく別れることができました。



⑤ 炭焼き準備

さすが、日ごろから竹林の活動をされている方々です。使い慣れた工具を用いて手際よく炭焼き準備が進められました。



⑥ 炭焼き開始

準備かが整ったら、いよいよ着火。どの班のドラム缶も勢いよく炎があがりました。炎が落ち着いたら昼食をとりました。



⑦ 各班に違いが。。。

ドラム缶の形状、微妙な火加減、中に入れた竹の肉厚等により、各班それぞれに焼き上がりのタイミングが異なりました。



⑧ 団体紹介

火からはずして、土の中で冷やしている間に団体紹介を行いました。どんな人が参加しているか、知ることができました。



⑨ 出来上がりの確認

その後、竹炭の出来具合を確認しました。参加者に何度も竹炭をつくっている師匠がおられましたので、講評いただきました。



⑩ 最後に記念撮影

最後にみんな集まって記念撮影を行いました。今後も団体の活動として、この竹炭焼き技術を活用してもらえればと思います。